

- 「百人一首—和歌と美の世界 展」
- 「絵本作家・降矢なな原画展」
- 「ドナルド・キーン—世界から見た日本文学展」(仮称)
- 「没後 50 年 翁久允 OKINA Kyuin 展」(仮称)
- 「“風立ちぬ” 生誕 120 年 堀辰雄と軽井沢の作家たち」(仮称)

2023	4	5	6
	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土
	1	1 2 3 4 5 6	1 2 3
	2 3 4 5 6 7 8	7 8 9 10 11 12 13	4 5 6 7 8 9 10
	9 10 11 12 13 14 15	14 15 16 17 18 19 20	11 12 13 14 15 16 17
	16 17 18 19 20 21 22	21 22 23 24 25 26 27	18 19 20 21 22 23 24
	23 24 25 26 27 28 29	28 29 30 31	25 26 27 28 29 30
	30		
	7	8	9
	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土
	1	1 2 3 4 5	1 2
	2 3 4 5 6 7 8	6 7 8 9 10 11 12	3 4 5 6 7 8 9
	9 10 11 12 13 14 15	13 14 15 16 17 18 19	10 11 12 13 14 15 16
	16 17 18 19 20 21 22	20 21 22 23 24 25 26	17 18 19 20 21 22 23
	23 24 25 26 27 28 29	27 28 29 30 31	24 25 26 27 28 29 30
	30 31		
	10	11	12
	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土
	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4	1 2
	8 9 10 11 12 13 14	5 6 7 8 9 10 11	3 4 5 6 7 8 9
	15 16 17 18 19 20 21	12 13 14 15 16 17 18	10 11 12 13 14 15 16
	22 23 24 25 26 27 28	19 20 21 22 23 24 25	17 18 19 20 21 22 23
	29 30 31	26 27 28 29 30	24 25 26 27 28 29 30
			31
	2024	2	3
	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土
	1 2 3 4 5 6	1 2 3	1 2
	7 8 9 10 11 12 13	4 5 6 7 8 9 10	3 4 5 6 7 8 9
	14 15 16 17 18 19 20	11 12 13 14 15 16 17	10 11 12 13 14 15 16
	21 22 23 24 25 26 27	18 19 20 21 22 23 24	17 18 19 20 21 22 23
	28 29 30 31	25 26 27 28 29	24 25 26 27 28 29 30
			31

| 利用案内 |

- 開館時間 展示部門……午前9時30分から午後6時まで
(観覧受付は午後5時30分まで)
- 研修室・和室…午前9時30分から午後9時まで
- 休館日 火曜日(祝日を除く)、祝日の翌日、年末年始

| 交通案内 |

- 富山駅南口(JR・あいの風とやま鉄道)から
 - 市内電車(富山地方鉄道) 「大学前」行または環状線乗車、「県庁前」下車、徒歩5分
 - コミュニティバス「西ルート」乗車、「富山中部高校前」下車、徒歩2分
まいどはや
 - 徒歩 約15分
- 富山空港から タクシー約20分
- 北陸自動車道富山ICから 自動車約20分

| 駐車場 |

駐車場は南側に42台、東側に41台分あります。駐車料金は、最初の1時間まで330円です。以後、30分毎に110円が加算されます。ただし、文学館利用者については、3時間まで無料となります。館内で、駐車券の認証を受けてください。(認証を受けない場合、無料の特受を受けることができません。)
※駐車可能台数に限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。



〒930-0095 富山県富山市舟橋南町2-22
TEL 076-431-5492 FAX 076-431-5490
<https://www.koshibun.jp/>



展覧会スケジュール 2023.4 ⇒ 2024.3

高志の国文学館

KOSHINOKUNI Museum of Literature



高志の国文学館

KOSHINOKUNI Museum of Literature

開館10周年記念企画展・G7教育大臣会合開催記念

「百人一首—和歌と美の世界 展」

2023年3月19日(日)～6月5日(月)

主催：高志の国文学館 共催：北日本新聞社、北日本放送
特別協力：吉海直人、公益財団法人冷泉家時雨亭文庫

■観覧料 一般500円(400円) 大学生250円(200円) ()内は20人以上の団体料金
前売り・一般400円

「百人一首」は、飛鳥時代から鎌倉時代に至るまでの歌人百人の秀歌を、「古今和歌集」以下の勅撰集の中から一首ずつ選んだもので、かるた遊びなどで幅広い世代に親しまれてきました。

本展では、時代を超えて読み継がれる百人一首の魅力と文化的な広がりについて、貴重な資料を通じてご紹介します。その多彩な世界をお楽しみいただくとともに、日本人の繊細な自然感覚や美意識の源流である美しい和歌の世界をご鑑賞ください。



| 観覧料 |

- 常設展 一般200円(団体160円)
※団体料金は20人以上の場合
※70歳以上の方の常設展の観覧は無料になります。
(年齢を証明できるものがが必要です。)
- 企画展 展覧会によって異なります。
企画展観覧券で常設展示もご覧いただけます。

次の方は常設展・企画展ともに無料でご覧いただけます。

1. 小・中・高校・特別支援学校の児童・生徒及びこれに準ずる方(大学生は常設展のみ無料)
 2. 各種障害者手帳をお持ちの方及び付添いの方(付添いは手帳をお持ちの方お一人につき1名まで)
- ※学校教育・社会教育活動として児童・生徒が観覧される場合、引率者の方も観覧料が無料になります。あらかじめ「観覧料免除申請書」に必要事項を記入のうえ、事前に当館まで提出ください(FAX可)。
観覧料免除申請書はホームページからダウンロードできます(PDF、Word)。
※都合により、記載内容を変更する場合があります。詳しくは高志の国文学館 HP をご覧になるか事務局までお問い合わせください。

「絵本作家・降矢なな原画展」

2023年6月24日(土)～9月4日(月)

主催：高志の国文学館 共催：北日本新聞社、富山テレビ放送
特別協力：降矢なな 企画制作：株式会社MIMOseele

観覧料 一般400円(320円) 大学生200円(160円) ()内は20人以上の団体料金
前売り一般320円

『めっきらもっきら どおんどん』、 「おれたち、ともだち!」シリーズなどの 多彩な世界!

降矢ななは、巧みな絵本の表現で最も注目を集める絵本作家のひとりです。子どもの目線にこだわった絵本づくり、物語にふさわしい多彩な表現、登場人物の魅力的な造形、生き生きとした線とダイナミックな構図、明るく、明快な色彩、ユーモアのセンス、子どもたちが発見して喜ぶ絵のなかの遊び。そして、文・ことばを十分に咀嚼した上で、テーマに沿ったあらゆる表現方法を駆使して、子どもたちが絵本の世界で遊び、夢中になれる工夫を凝らしています。



本展は、降矢の代表作を中心に、物語に新しい息吹を吹き込む絵本表現の魅力にあふれた多彩な作品を紹介しています。原画とともに名作絵本を読む贅沢な時間を、ぜひ親子でお楽しみください。

富山新聞創刊100年記念

「ドナルド・キーン —世界から見た日本文学展」(仮称)

2023年9月24日(日)～11月27日(月)

主催：高志の国文学館、富山新聞社 共催：チューリップテレビ
編集協力：キーン誠己
企画編集：県立神奈川近代文学館、公益財団法人神奈川文学振興会
特別協力：一般財団法人ドナルド・キーン記念財団

観覧料 一般500円(400円) 大学生250円(200円) ()内は20人以上の団体料金
前売り一般400円

太平洋戦争直前の1940年(昭和15)に偶然手にしたアーサー・ウェーリ訳「源氏物語」との運命的な出会いに導かれて、ジャパノロジストの道へと進み、日本文化の魅力を世界へ、そして日本人々へ伝えたドナルド・キーン(1922～2019)。アメリカと日本を往来しながら、古代から現代までの文学、歴史、芸能と幅広いジャンルの研究や翻訳に取り組み、後に続く日本文化研究者の教育にも力を注ぎます。

本展では、ドナルド・キーン記念財団の特別協力をえて、ドナルド・キーンの著作を通し、世界から見た日本文学がもつ魅力、奥深さ、美しさを見つめなおします。平安時代から江戸時代の日記文学を論じた「百代の過客」や、ライフワークとなった「日本文学の歴史」などの著作を紹介。キーンが愛した能や狂言などの伝統芸能、谷崎潤一郎や川端康成ら作家との交遊も示しながら、日本人の精神を掘り下げます。



「没後50年 翁久允 OKINA Kyuin 展」(仮称)

2023年12月16日(土)～2024年3月4日(月)

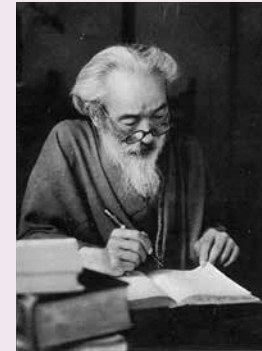
主催：高志の国文学館 共催：北日本新聞社、北日本放送
特別協力：須田満

観覧料 一般400円(320円) 大学生200円(160円) ()内は20人以上の団体料金
前売り一般320円

アメリカで暮らし、インドを歩き、 富山から発信し続けたコスモポリタン

翁久允(おきなきゅういん 1888～1973)は、現在の富山県立山町出身の小説家・ジャーナリストです。アメリカで約18年を過ごし、帰国して『週刊朝日』の編集に携わりました。1931年、画家の竹久夢二とともに再び渡米、1933年にはインドに旅して詩人・タゴールを訪ねます。両国での経験は、小説『悪の日影』、評論集『宇宙人(コスモポリタン)は語る』、『今日の印度』などに記されています。1936年、富山で郷土文化誌『高志人(こしびと)』を創刊、生涯を通じて刊行を続けました。

明治末期から大正期にアメリカに暮らし、インドを歩き、移民社会や文明の相克を目の当たりにした経験をもとに、郷土の歴史と文化を知ることの重要性を伝え続け、共有する場をつくり続けた翁久允の仕事を紹介します。



「“風立ちぬ” 生誕120年 堀辰雄と軽井沢の作家たち」(仮称)

2024年3月23日(土)～6月3日(月)

主催：高志の国文学館 共催：北日本新聞社、富山テレビ放送
協力：堀辰雄文学記念館、軽井沢高原文庫

観覧料 一般500円(400円) 大学生250円(200円) ()内は20人以上の団体料金
前売り一般400円

軽井沢を愛し、独特の文学的雰囲気をつくりだした堀辰雄と軽井沢文士たち

堀辰雄(1904～1953)は、第一高等学校在学中から室生犀星、芥川龍之介に師事、彼らと軽井沢を訪れ、以後も肺結核の療養を兼ねてたびたび滞在しました。堀は、日本の私小説に飽き足らず、ブルーストヤリルケなど西洋文学の手法を採り入れて愛と青春、生と死などのテーマに挑み、『美しい村』『風たちぬ』などの作品を発表しました。これらは今なお若い世代の読者を魅了し続けています。

また、日本の古典文学への傾倒から『かげろうの日記』などの名作も著しました。

本展では、清新で詩心にあふれる堀の作風確立の過程と作品世界を原稿、書簡、蔵書など貴重な資料でたどるとともに、堀を慕って集まった立原道造らの軽井沢文士を紹介します。併せて、堀や軽井沢とも関りの深い「芥川龍之介宛片山廣子書簡」(当館蔵)を特別公開します。



昭和17年頃 軽井沢の別荘で(堀辰雄文学記念館提供)

